

北里大学病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	当院の超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ(EUS-CD)の治療成績に関する後ろ向き研究(B22-219)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部消化器内科 講師 岩井知久
他の研究機関および各施設の研究責任者	当院のみで行う臨床研究です。
本研究の概要・背景・目的	膵周囲液体貯留(peripancreatic fluid collection、PFC)は急性膵炎や慢性膵炎、膵外傷、膵外科手術後に続発する膵周囲に発生する液体貯留の総称です。PFCは感染を併発し抗菌薬などによる保存的治療のみで感染コントロール不能な例、疼痛などの有症状例では嚢胞内容物のドレナージを施行します。それでもコントロール不良なWONなどは壊死物質除去を行うネクロセクトミー(necrosectomy)が必要となります。内視鏡を用いた超音波内視鏡下ドレナージ、内視鏡的ネクロセクトミーが感染性PFC治療に対して多く行われつつありますが、適切なドレナージの時期や継続期間、使用する抗菌薬、各処置具の選択、そしてネクロセクトミーの必要性やそのタイミングなどは行う施設によって様々で統一されていないのが実情です。そこで当院におけるEUS-CDの治療成績、安全性を検証することを目的に本研究を行います。この研究結果をもとに、今後さらに安全で効果的な治療法の確立へとつながることが期待できます。
調査データ 該当期間	2015年4月1日～2022年12月31日
対象となる患者さん	北里大学病院において、2015年4月1日から2022年12月31日までの期間に超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ(EUS-CD)を施行した患者
研究の方法 (使用する試料等)	2015年4月1日～2022年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。研究の遂行のための費用は消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位: 医学部消化器内科・助教

担当者: 石崎純郎(イシザキジュンロウ)

電話: 042-778-8111(北里大学病院代表)

備考